

9/4 市内最高齢者にお祝い状を贈呈



敬老の日を祝して、市内の女性最高齢者である土居町津根の高石イワさん（108歳）、男性最高齢者である土居町小林の石田重義さん（106歳）に、それぞれ、篠原市長と曾我部市議会議長からお祝い状やお祝いの品が手渡されました。

9/14 伊予三島ロータリークラブが市役所新庁舎へテレビなどを寄贈



伊予三島ロータリークラブ（山内一正会長）が、創立60周年の記念事業として、市役所新庁舎の市長室へテレビなどを寄贈しました。篠原市長は「新しい庁舎で新しい体制で新しい歴史の一步を踏み出します。大切に活用させていただきます」と感謝状を贈りました。

9/23 塩塚高原でパラグライダー体験



塩塚スカイクラブ（鈴木邦雄会長）による体験会が、塩塚高原で行われました。当初は風向きが悪く飛行が危ぶまれましたが、徐々に天候が回復し、絶好のパラグライダー日和になりました。参加者たちはゆったりと、気持ちのいい秋空での空中散歩を楽しみました。

9/10 交通安全母の会と三島高校による交通安全啓発活動



フレッシュバリュー三島店で、三島高校の生徒15人を含む総勢23人が、同校のVYS部が安全を願って手作りしたお守りと啓発チラシを来店客に配布しました。また、四国中央警察署の井上交通課長が、高校生たちに、自転車の交通安全について注意を促しました。

9/19 第44回全日本スポーツチャンバラ選手権大会で優勝！



石川大雅くん（三島高校2年）が、横浜市で開催された全日本選手権大会で優勝しました。また、同日に行われた世界選手権大会の代表選考会でも勝利し、日本代表の座を勝ち取ったことを、篠原市長に報告しました。

9/24 小富士スポーツ少年団による交通茶屋



土居町小林のJA仕出しセンター前で、小富士スポーツ少年団（西山雅啓団長）による交通茶屋が行われました。保護者を含む約50人が参加し、吸盤を取り付けた手作りのメッセージカードなどを子どもたちがドライバーに手渡し、安全運転を呼びかけました。



9/25

第12回 JKJ0 全日本ジュニア空手道選手権大会に出場！



今井琴梨さん（三島高校1年）が、3月に香川県で開催された四国地区選抜大会の中学女子52kg未満の部で優勝し、全日本選手権大会に出場することを篠原市長に報告しました。今井さんは「一つでも多く勝てるよう全力で頑張ります」と大会の抱負を述べました。

9/27・28

観月会



土居町入野の暁雨館で行われた観月会では、約300年前に造られた庭園にお茶席が設けられ、2日間で約170人が、秋の涼しいそよ風に包まれ、虫の音を聞きながらお茶をいただきました。また館内では演奏会も行われ、2日間で約400人が秋の夜長を楽しみました。

9/29

本市出身・元タカラジェンヌ 帆風成海トークショー&ワークショップ



川之江ふれあい交流センターで行われ、トークショーでは帆風さんが宝塚歌劇団でのエピソードなどを話し、約200人が楽しそうに聞いていました。またワークショップでは、帆風さんの指導を受けながら、約50人の参加者が宝塚歌劇の有名なシーンを演じました。

9/26

フェンシングの国際大会に出場！



10月にフィリピンで行われたアジアU-23選手権大会女子サーブルに、向井晴香さん（朝日大学4年）が出場しました。また、11月に台湾で行われるアジアカデサーキットサーブル台北大会に、石川せとさん（三島高校2年）と、高橋ひかりさん（同校1年）が出場します。

9/28

市役所本庁舎閉庁式



新庁舎の完成に伴い、その役目を終えた旧本庁舎。三島高校書道部が揮毫したお別れメッセージが展示された式典会場では、庁舎の歩みを写真で振り返ったほか、同校吹奏楽部による記念演奏などが行われました。また、最後に篠原市長らが庁舎玄関の銘板を白布で覆い、45年の歴史に幕を下ろしました。なお、旧本庁舎は解体され、来年9月までに立体駐車場が整備されます。

10/1

「災害時における物資（紙製品）の調達に関する協定」を締結



大規模災害時の避難所での生活には、さまざまな物資が必要になります。そのような中、トイレトーパーなどの紙製品は生活するうえで欠かすことのできない物資であることから、公益社団法人愛媛県紙パルプ工業会（服部正会長）と本市が協定を締結しました。



10/3 第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」に出場！



大会は、10月13日（土）～15日（月）に福井県で開催されました。愛媛県からは71人の選手が出場し、本市からは、高橋照さん（フライングディスク）、宮崎信博さん（水泳）、近藤智哉さん（陸上競技）、篠永純さん（卓球）の4選手が出場しました。

10/4 宇摩ゴルフ協会が特別支援教育のための寄附金を贈呈



特別支援教育を支援するため、宇摩ゴルフ協会（合田浩三会長）から本市及び福祉・教育関係団体などに寄附金355万円が贈呈されました。この寄附金は、6月に開催されたチャリティーゴルフ大会で、協賛企業及び参加者から集まったものです。

10/6 ボランティア市民活動交流会



市役所市民交流棟で開催された交流会には、ボランティア市民活動センターの登録団体や市民活動に興味がある方などが参加しました。各団体の活動発表が行われた後は、グループに分かれて自身の活動内容を話したり、情報交換を行ったりして交流を深めました。

10/10 ニュージーランド・オレワ校の生徒らが市長を表敬訪問



市国際交流協会のホームステイ受入事業により、本市を訪れたニュージーランド・オレワ校の12人（生徒10人、教員2人）が、市長を表敬訪問しました。同校の訪問は今回で6回目となり、自己紹介で生徒らは、日本で体験したいことなどを話していました。

子育て

市長のひとりごと



四国中央市長 篠原 実

今から年末にかけて、国の各官庁が、予算獲得に向けてラストスパートに入る。道路、港湾、災害、農地、農業用水路、河川、学校整備などの地方行政に密接に関わる予算には、地方自治体にも集合の大量令が発せられる。できる限り我々も協力しなければならぬと思っている。

先日も道路関係予算に関する会合があり、バタバタしながら上京した。帰りの便は、後列の30番過ぎであった。通路を挟んで、若い夫婦が3歳と1歳過ぎの子どもを膝に抱いて搭乗していた。1時間までは子どももある程度分別があるが、それを超えるとなかなか親の思い通りにはならない。羽田から高松まで後半の30分が勝負である。私は、無責任にその夫婦と親子の空気を見ていた。女の子に1個だけあったしこちゅ〜バツジをあげると、一瞬おとなしくなった。

親の方に、どこの初老のおっさんかいなというような顔をされたが、空気が悪くなったわけではない。子どもを育てるといふのは大変だ。この年になって初めて実感する。でも遅いよね…??

父母も 子どもと共に生まれたり
育たねばならぬ 子ども父母も

